参 加 上 の 注 意 等

1.本大会は、2026年度日本陸連競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行う。

2.招集所は、100mスタート側第1ゲート外側脇付近に設ける。

3.招集（コール）は次の通りとする。
- コールは、本人が招集開始時刻から招集終了時刻までに、招集所にてアスリートビブス（ナンバーカード）・腰ナンバーカードのチェックを受ける。（腰ナンバーカードは日立市陸協指定のものを受け取り、折り曲げずに右腰やや後方に着ける）
- チェックを受けた後、各自で競技場所へ移動する。ただし、小学生は競技役員（補助員）の誘導により競技場所に移動する。
- 招集所にスタートリストは掲示しない。
- 選手はユニフォームを着用して、コールを受けること。
- 招集終了時刻までに、チェックを受けない競技者は棄権とみなし、競技会への出場を認めない。

4.選手の入場は100mスタート側ゲートとし、競技終了後（ゴール後）は、ゴール側ゲート及びバックストレート側より退場する。

5.タイムテーブルNO1～4、NO11～15までの時間は、バックストレートでの練習可とする。その他、指示されたレーンでのバックストレートでの練習も可とする。

6.競技場靴について、
① 競技場は全天候舗装であるため、スパイクの数は11本以内、長さ9mm以内とする。
ただし、やり投・走高跳の場合は12mm以内とする。また、スパイクの先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定期に適合するように作られていなければならない。
② WA規則第143条を適応するため、ソールの最大の厚さが20mmを超えるシューズ は使用できない。競技者が、規則違反シューズで出場した場合、失格となる。競技終了後、検定することがある。
③小学4年生以上のスパイクの使用を認める（ピンの長さは9mm以下）ただし、1000mは使用禁止とする。

7. 小学生の、スターティングブロックの使用は4年生以上とする。

8. トラック種目の100mは予選タイムレース上位8名により決勝を行う、
100mで決勝進出者が9名となった場合は2組タイムレースで順位を決める
他のトラック競技はすべてタイムレースとする。

9.フィールド種目は全て3回試技とする。

10. 走高跳バーの上げ方（天候などの状況によっては、変更する場合もある）
- 小 学 校：男子1m00～ 5cmずつ上げる　女子90cm～ 5cmずつ上げる
- 中 学 生：男子1m15～ 5cmずつ上げる　女子1m00～ 5cmずつ上げる
- 高校一般 ：男子1m50～ 5cmずつ上げる　女子1m10～ 5cmずつ上げる

11. 受付で貸与された「アスリートビブス（ナンバーカード）」（胸と背及び腰）は、競技終了後、外して係員に戻すこと。

12. アスリートビブスの「A」「B」「X－（数字,ハイフン）」はプログラムには表示ないので、招集（コール）の際は間違わないよう注意すること。

13. 競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影については以下の事項を禁止とする。
- 保護者及び本人の同意のない撮影。
- 撮影を禁止された区域での撮影。（メインスタンド以外での競技の撮影）
- 主催者より許可された報道機関以外の競技場内での撮影。

14. その他
- 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うが、それ以後の責任は負わない。（本大会の傷害保険は、加入していません）
- 動公園内では、一般の利用者への迷惑となる行為は禁止する。
なお、主催者は事故等の責任は負わない。
- 応援は応援席で行い、競技中はスタンド下のピロティ含む競技場内には選手、競技役員以外入らないこと。
- アリーナ周辺は、緊急車両の通行の妨げになるため、テント等の設置は禁止する。
- 競技者等のマスク着用は、個人の判断とする。ただし、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行い、手を清潔に保つこと。
- 参加料は、当日、受付にお支払いください。
- 表彰は、各種目1位にメダル、1位～3位までに賞状を授与する。
（成績発表後、本部前で表彰しますので、該当者はご集合ください。）

14. 今大会は携帯・スマートフォン・パソコンから記録速報がご覧戴ける予定です。
下記QRコードを読み込んで戴くか、URLを直接入力し「茨城陸協HP」よりご覧ください。

QRコード

URL
http://ibariku.com/

救護・応急処置に関する事項

1. 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は、近くの競技役員に申し出て救護室を利用してください。(競技役員は、車イスの利用も確認願います。)(看護師が常駐)

2. 競技会当日の競技場内での傷害、疾病などの応急処置は主催者が行いますが、以後の責任は負いません。

大会緊急時及び安全対策に関する事項

1. 自然災害に対する対応
①荒天時(大雨・暴風警報等)
避難が必要な場合、場内アナウンスや係員の誘導に従い、安全な場所へ速やかに移動する。
②火災
a. 第一発見者は、大声で周囲の人に呼びかけ、非常ベルを押す。
b. 大会本部に通報する。
c. 場内アナウンスや係員の誘導に従い、慌てずに避難場所へ移動する。
③地震
大揺れの最中(発生から30秒～1分)
a. 身の安全を図るため頭部・首を持ち物(バッグ)や衣類等で保護する。
b. 危険な場所(窓ガラス付近)にいる場合は、安全な場所へ移動する。
c. 安全な場所にいる場合は、その場を動かない。
大揺れおさまる
a. 余震や出火の危険もあり、混乱を避けるため、危険な場所にいる場合以外は場内アナウンスや係員の指示があるまでは、その場を動かない。
b. 負傷者を発見した場合は、近くの大会関係者や大会本部に通報する。
c. 避難が必要な場合は、場内アナウンスや係員の誘導に従い慌てずに避難場所へ移動する。
④雷発生及びJアラート発生
安全を確認し、速やかに移動
a. 主競技場内 → メインスタンド下又はスタート・ゴール付近倉庫
b. メイン・バックスタンド → スタンド入口階段下付近又はさくらアリーナ
c. 競技場周辺 → さくらアリーナ

2. 不審者・不審物に対する対応
①不審者による危機発生時の緊急対応
a. 第一発見者は、近くの大会関係者や大会本部に通報する。
②不審物に対する対応
a. 不審物を発見した場合は、「触れず・動かさず・近づかず」に直ちに近くの大会関係者や大会本部に通報する。
b. 場内アナウンスによる避難指示があった場合は、速やかに従う。

参加選手・各学校・所属団体の待機場所について

①参加選手・団体の待機場所は、さくらアリーナ周辺、陸上競技場のバックスタンド及び周辺とします。

②競技場内（ピロティー含む）での待機は不可とします。